

ドイツ語(German)

担当教員名	横田 一哉	
学科・専攻, 科目詳細	電気情報工学科 情報工学コース 4年 通年 2単位 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 選択科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 外国語系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(20%) B-1(50%) B-2(30%)
	JABEE基準1(1)	(a)(f)
科目の概要	この授業では、ドイツ語の基礎文法を学び、ドイツ語の読む、書く、聞く、話すといった総合的な力を、バランスよく身につけることを主な目的とします。文法事項を学ぶ際には、実用的な、生きたドイツ語が身につくように、それぞれの課で学ぶ文法事項を用いた、対話形式の練習を多く取り入れていきます。また、ドイツの社会事情について書かれた読み物を読みながら、ドイツ語の読解力を向上させ、ドイツという国についての知識も豊富になるようにしていきます。	
テキスト(参考文献)	DVDわかるぞドイツ語！見えるぞドイツ語！春日正男、松澤淳（朝日出版社）	
履修上の注意	<p>(1) 最初の授業の時に、いくつか辞書を紹介するので、その中から、自分が使いやすいと思う辞書を買って、必ず毎回授業に持ってくること。</p> <p>(2) 与えられた課題にはしっかり取り組むこと。</p>	
科目の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語の文構造や、規則を確実に把握し、辞書を用いれば、中級程度のドイツ語を読みこなすことができるようになることを目標とします。 ・対話形式の練習で身につけたことを生かし、自分の身の回りの事柄を、簡単なドイツ語で表現できるようになることを目標とします。 ・異文化への理解と対応能力の養成ドイツの社会事情に関する読み物を読むことにより、ドイツ人のものの考え方や、生活習慣などについての理解を深めることを目標とします。 	
自己学習	教科書の練習問題の予習・復習をして授業に臨むこと。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/4以上の欠課
	<p>定期試験(60%)：文法内容の理解を中心としたテスト。</p> <p>小テスト(20%)：文法規則についてのテスト。</p> <p>出席状況と授業に取り組む姿勢(20%)：正当な理由なく欠席した場合は減点。</p> <p>欠席が授業時間の四分の一を超えた場合、単位は認定されません。</p> <p>以上の基準において、学年末で100点満点中60点以上が合格となります。</p>	
連絡先	akimoto@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	ドイツ語とドイツについての紹介 アルファベットと発音規則
第2週	ドイツ語とドイツについての紹介 発音規則とあいさつ表現
第3週	Lektion1 文法・動詞の現在人称変化
第4週	Lektion1 文法・ドイツ語の語順について
第5週	Lektion1 読み物・ドイツの中の日本
第6週	Lektion2 文法・seinとhabenについて
第7週	Lektion2 文法・名詞の性と数
第8週	Lektion2 読み物・ドイツのビールとワイン
第9週	Lektion3 文法・冠詞と名詞の格変化
第10週	Lektion3 読み物・ベルリン
第11週	Lektion4 文法・不規則変化動詞と命令形
第12週	Lektion4 読み物・ヨーロッパとEU
第13週	Lektion5 文法・定冠詞類と不定冠詞類
第14週	Lektion5 読み物・ドイツの若者のアルバイト
第15週	復習 前期で行ってきたことの復習
期末試験	

授業の計画・内容	
第16週	Lektion6 文法・人称代名詞
第17週	Lektion6 文法・前置詞
第18週	Lektion6 読み物・ドイツのパン屋
第19週	Lektion7 文法・話法の助動詞と未来形
第20週	Lektion7 文法・従属の接続詞
第21週	Lektion7 読み物・ドイツの旅行事情
第22週	Lektion8 文法・分離動詞
第23週	Lektion8 文法・再帰動詞
第24週	Lektion8 読み物・ミュンヘン
第25週	Lektion9 文法・形容詞の格変化
第26週	Lektion9 読み物・ミュンヘンのオクトーバーフェスト
第27週	Lektion10 文法・動詞の三基本形と過去形
第28週	Lektion10 読み物・ドイツのサッカー事情
第29週	Lektion11 文法・完了形
第30週	復習 後期で行ってきたことの復習
期末試験	